

## 回復期リハビリテーション病棟とは？



理学療法科 科長  
野谷美樹子

当院には2病棟86床の回復期リハビリテーション病棟があります。  
回復期リハビリテーション病棟は、脳卒中や大腿骨頸部骨折などの病気やケガで急性期の治療が終わり、回復の時期になった患者様に対し、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

ただし、この病棟では、病名と、病気・ケガを発症してから入院するまでの期間が決まっています。(表1) たとえば、脳梗塞や脳出血などの脳卒中、大腿骨頸部(太ももの付け根部分)の骨折、脊髄損傷、頭部外傷、肺炎や外科手術の治療時の安静による廃用症候群などでは発症または手術後「2か月以内」、股関節・膝関節の神経や筋、靭帯損傷後は「1か月以内」などです。

【表1】

疾患	発症から入院までの期間	病棟に入院できる期間
1 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	2ヶ月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷		180日
2 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2ヶ月以内	90日
3 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	2ヶ月以内	90日
4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1ヶ月以内	60日
5 股関節又は膝関節の置換術後の状態	1ヶ月以内	90日

※資料出展：厚生労働省/回復期リハ病棟入院料を算定可能な疾患(2016年改定・別表9)

## 当院の回復期リハビリテーション病棟の アピールポイント!

### 回復期リハビリテーション病棟 基準1

回復期リハビリテーション病棟は6段階に分けられていますが、当院は最上位の基準1を取得しています。この基準1は、簡単にいうと、集中的なリハビリテーションを提供して、短い期間でできるだけ心身の回復を図り、早期に在宅復帰を実現している病棟である、ということです。

### 365日のリハビリテーションの実施

入院期間中は、土日祝、年末年始も平日と同じリハビリテーションを提供します。1日のうちリハビリの時間が2~3回あり、合計して1日平均2時間以上のリハビリテーションの時間があります。



〈言語療法〉



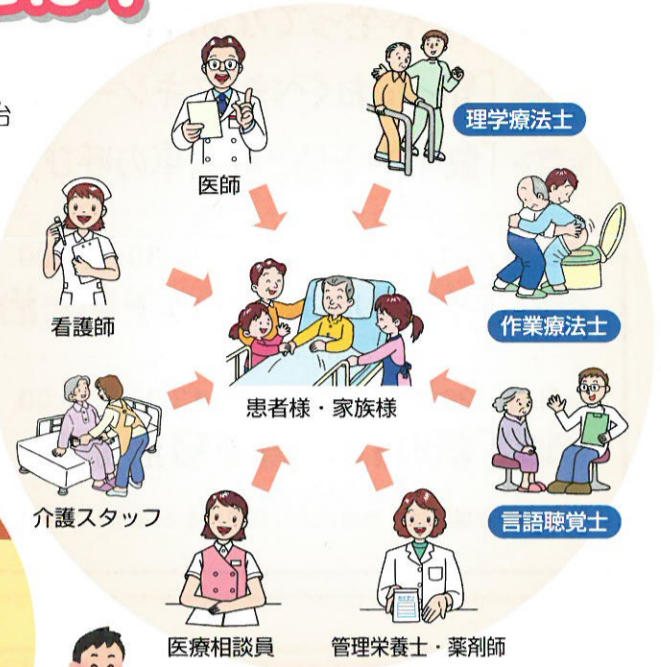
〈作業療法〉



〈理学療法〉

### リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)が充実

- 理学療法士 (PT) 42名
  - 作業療法士 (OT) 17名
  - 言語聴覚士 (ST) 8名
- (2019年7月現在)



### 地域の急性期病院との連携について

国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、済生会吹田病院、済生会千里病院などで急性期の治療を受けられたあと、リハビリテーションを目的に多くの患者様をご紹介します。



病室



3階西病棟

### 患者様の回復、退院に向けた支援をチームで後押し

脳卒中のリハビリテーションに特化した看護師、回復セラピストマネージャー(一般社団法人全国回復期リハビリテーション病棟協会認定)、専従の社会福祉士と連携したリハビリテーションの提供をします。

またリハビリ室での練習だけでなく、必要に応じて看護師との杖歩行やトイレ練習などスタッフが協働しておこないます。



カンファレンス

### 退院後の在宅生活を支援します!

在宅復帰に向けて退院前カンファレンスを開き、訪問看護師、ヘルパー、通所リハのスタッフなど多職種で話し合います。

退院後も安心して地域での生活を送っていただけるよう、患者様、ご家族様の不安に対してサポートします。

継続したリハビリが必要な場合は当院併設のウエルハウス協和での通所リハビリ、訪問リハビリも提供します。

これからも切れ目のないリハビリテーションの提供と継続したフォローアップができる体制を整えていきます。



通所リハ

退院支援室による退院後訪問



ウエルハウス協和リハ室(通所リハ)



## 2019年度下半期 院内健康講座スケジュール

協和会病院では、地域の皆様に病気の予防や早期発見・早期治療の大切さを再認識して頂くために定期的に健康講座を開催しております。当日は、本院2階**理学療法室が会場**となっておりますのでお気軽にお越し下さい。



●日時／2019年9月14日(土) 13:30～15:00

テーマ **「腎不全ってなあに？」**

慢性疾患看護専門看護師 **村上 知紀**

テーマ **「知っておくべき! スキンケアについて」**

皮膚排泄ケア認定看護師 **木内さゆり**

テーマ **「脳卒中予防と救急車の呼び方について」**

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 **木部 由紀**

●日時／2019年11月9日(土) 13:30～15:00

テーマ **「インフルエンザの予防と治療」**

薬剤科主任 **松井美恵子**

●日時／2020年3月14日(土) 13:30～15:00

テーマ **「新時代の関節痛治療」**

副院長(整形外科) **中村 宜雄**

※日時&会場等は、都合により変更になる場合もございますのでホームページ等でご確認下さい。

## 新任ドクター紹介

**宮岡 宏治**

専門科 内科 (特に循環器領域)

出身地 岡山県

趣味 山歩き、旅行など

特技 どこでも眠れる



### 患者さんへ一言

平成31年4月より内科(循環器)医として勤務しております。高血圧、脂質異常、糖尿病など生活習慣病の管理、心疾患の診断はもとより、幅広く内科診療を行って参ります。

病気のきっかけは些細な症状のことが多く、早期に発見できると早くに治療できます。どんな些細な症状でも結構ですので、「いつもと違う」症状があれば気軽に診察にお越しください。わかりやすい医療をモットーに説明させていただきます。宜しくお願い致します。

## 車椅子の寄贈ありがとうございます!

令和元年7月24日、回復期リハビリテーション病棟にご入院されている榎本和子様のご厚意で、患者様の体格に合わせて調整できる多機能型の車椅子を2台寄贈いただきました。

今回、寄贈して頂いた車椅子は患者様に喜んでもらえるよう使わせていただきます。本当にありがとうございました。職員一同心よりお礼申し上げます。

寄贈いただいた車椅子



榎本様を囲んで記念撮影



平塚院長より感謝状をお渡ししました



## 「地域包括ケアシステム」とは

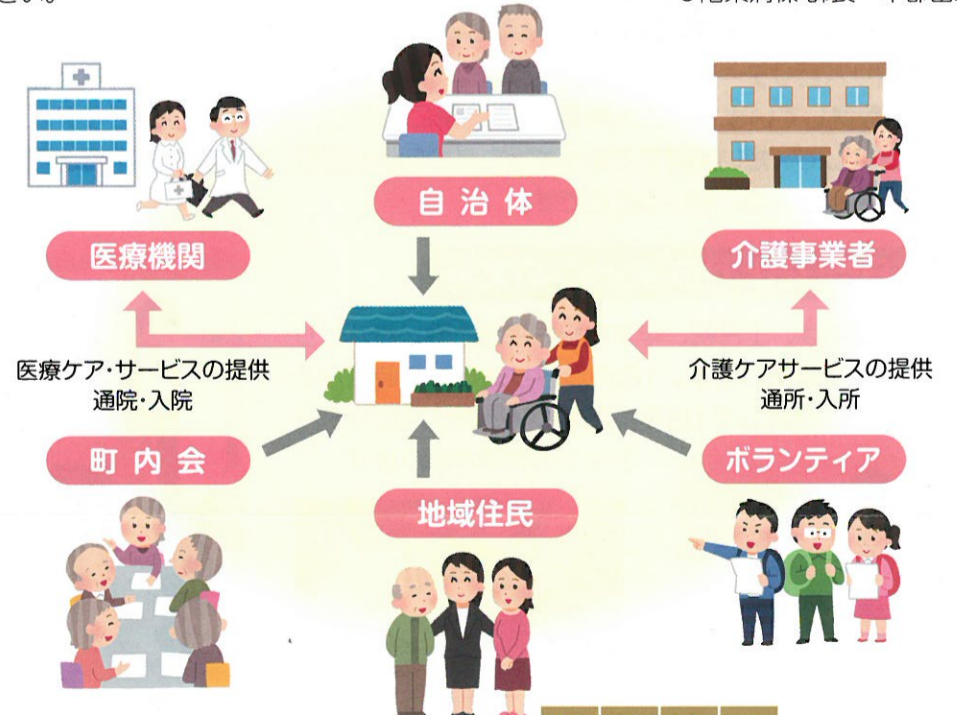
「地域包括ケアシステム」とは、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制のことです。この体制の実現のためには、地域住民・介護事業者・医療機関・町内会・自治体・ボランティアなどが一体となって地域全体で取り組むことが求められています。

協和会病院では地域の方々と一緒に「地域包括ケアシステム」を考える一環として、2018年から出前講座を開催しています。昨年は亥の子谷コミュニティセンター、岸部市民センターで開催しました。今年度は2月・4月・6月と、千一コミュニティセンターで開催しました。認定看護管理者から「地域包括ケアシステムとは」、慢性疾患専門看護師から「糖尿病のお話」、作業療法士から「自助具の紹介」、訪問看護師の「もしばな」のテーマで、「もしも自分が…」 「もしも家族が…」と、グループで話し合いも行っています。

そのほか、地域包括ケア支援センターから保健師、院内の認定看護師、薬剤師も参加しています。参加者からは、「地域包括支援センターの利用に関しての不安解消に繋がった」や「最期を考える機会になった」と、意見を頂いています。

今年度、下半期は千里山方面や老人会などで開催予定です。ご近所の方は是非、ご参加ください。

3階東病棟 師長 木部由紀



## 編集後記

平成が終わり令和という新時代に入りました。私が幼少の頃、小淵恵三氏(当時内閣官房長官)が平成という文字を掲げて新元号を発表した時の事は今でも記憶に残っています。

この30年余りで医療業界は大幅な進歩を遂げた事は言うまでもありませんが、私の専門とする放射線領域も驚異的な進化を成し遂げました。今後もその流れが続くものと思われませんが、少子高齢化と直面する令和の時代は地域医療、情報の共有がより一層重要となります。「なごみ」が地域の皆様、近隣の先生方との架け橋となればと願います。今後ともご愛読の程宜しくお願い申し上げます。

《広報誌委員長 澤近雅之》

## 協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代)06-6339-3455

- 理事長／北川 透
- 院長／平塚 正弘
- 開院年月日／1988年(S63)3月
- 診療科目／内科、消化器科、循環器科、糖尿病内科、外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、泌尿器科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 診療時間／午前診 9:00～12:00 (月曜日～土曜日) 午後診 13:00～15:00 (月曜日・水曜日・木曜日)

※救急医療については、24時間お受けしております。

## 病院理念

# 知・技・心

専門的な知識と技術の向上を図り 心をこめて安心の医療を提供します

## 基本方針

1. 「患者様中心」を常に心がけ、満足な医療を提供します
1. 患者様の人権を尊重し、公平な医療を提供します
1. 急性期から慢性期まで、地域と連携した医療を提供します
1. チーム医療を推進し、質の高い医療を提供します
1. 人員・設備・環境を整え、安心して安全な医療を提供します

医療法人協和会 協和会病院 2012.4.1